

ACT

Aichi Chuoh Tsushin

アクト

組合員と
その家族のための情報誌



4

2023
vol.325

いい「土」 いい「笑顔」
JAあいち中央
<https://www.jaac.or.jp/>

特集

JAあいち中央女性組織活動

イキイキレディースって何？
にお答えします

皆さまの“いいね!”お待ちしております



my スタイル Style

次代の担い手



く の あつ のり
久野宏哲 さん

刈谷市一里山町(33歳)

●栽培作物：規模
梨：1.2ヘクタール



実をつける枝を残し、
余分な枝を切り落とします。
(剪定)



剪定した後は切り口を保護する
ための液を塗って、切り口から
病気になったり枯れたりしない
ようにします。

就農のきっかけ

会社に勤めていましたが、退職後も収入があった方が良く思っていたので、いずれは早期退職して曾祖父から始めた梨農園を継ぐつもりでした。若いうちに始めるのもいいかなと思い、3年前に就農しました。

やりがいを感じること

梨栽培は、就農後に父から教わりました。当初は、作業スピードが遅く、ただ作業に追われる日々でした。それでも、年々少しずつスピードが上がり、病虫害の早期発見・対策にもつなげられるようになり、多少余裕を持てるようになったと思います。

今後の夢

お客さんが「おいしい」と言ってくれる梨を作ることです。そのため、新しい品種にも積極的にチャレンジしています。お客さんの反応が良いと栽培面積を増やしたり、逆に良くないと別の品種に切り替えたりと常に需要に合った梨を提供できるよう模索しています。



いまは忙しくて行けませんが、農閑期にツーリングで遠出することが楽しみです。

—梨—

幸水や豊水、あきづきのほか、新水、甘太など現在は10品種以上の梨を栽培。時期に合わせて、7月下旬から9月下旬まで自身の直売所を中心に販売しています。

